

授業科目名	疫学・衛生統計	担当教員	名越教授 他		
開講年次及び学期	2年後期	必修・選択の別	必修		
開講形態	講義	時間数	30	単位数	2

授業の目的（概要）

疫学・衛生統計は、現象をしっかりと観察し、分析を加えた上で状況を推測する科学的な方法の一分野である。事実の客観的な把握と、事実に基づいた要因の推測は、見えるものとしての現象あるいは現実から、その奥にある直接には目に見えない世界としての科学的論理を構築しようとする試みである。現実と理論との往復がこの学問の本質である。本科目では、疫学・衛生統計の基本的な考え方や見方を学修するとともに、様々な疾病における疫学や衛生統計の活用・応用について学修する。

学修成果（到達目標）

1. 疫学・衛生統計の基本的概念・方法論を理解する。
2. 集団における健康問題を把握・分析する方法を理解し、説明できる。
3. 集団の健康状態を観察・推測する方法としての衛生統計や疫学を理解する。
4. 保健・衛生統計指標について学修し、わが国の保健衛生状態を各種統計を用いて説明できる。
5. 生活習慣病や疾患の疫学について学修し、個別の対策を考察できる。
6. 飲酒や喫煙などの生活習慣の管理について説明できる。
7. 感染症の基礎概念、流行の概念、対策等を説明できる。
8. 社会システムと健康との関連を学修する。

キーワード

疫学、保健・衛生統計、公衆衛生、生活習慣病、感染症、疾病予防、健康増進、

授業の進め方

基本的にWebexによるライブ講義です。

成績評価の方法

毎回の講義終了後の小テストに当日中に回答がない場合は欠席となりますので注意してください。小テスト（moodleでの受験）と期末試験を総合して評価します。詳細は、初回の講義で説明をします。

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

教科書

浅野嘉延著 楽しく学べる 看護学生のための疫学・保健統計 南山堂

参考書

国民衛生の動向．厚生労働統計協会，最新版

オフィスアワー

随時受け付けます。電話、メールで照会してください。

環境保健医学講座 公衆衛生学ユニット(2164) nagoshi@med.shimane-u.ac.jp

モデル・コア・カリキュラムとの関連

B-2-3) 生活・ライフスタイルと健康の関連

ねらい：多様な生活・ライフスタイルをもつーを理解し、その人にとって健康な生活の在り方を考えるための基礎となる生活と健康の関連について学ぶ。また、人がより良い健康行動をとることができるよう支援するために必要な行動科学・社会科学に関連する知識について学ぶ。

学修目標

- ①栄養・食生活、身体活動・運動、休養・睡眠と健康の関連について説明できる。
- ②喫煙、飲酒と健康との関連について説明できる。
- ③生活習慣に関連付けた健康の概念や政策について説明できる。
- ④主な社会資源と人々の暮らしや健康との関連について理解できる。

B-2-5) 社会の動向と保健・医療・福祉制度

ねらい：看護を取り巻く社会の動向や特性について学ぶ。健康と生活の支援に必要な保健・医療・福祉制度について学ぶ

- ①社会の動向や特性を説明できる。
- ②日本における社会保障制度の変遷と特徴について説明できる。
- ③保健・医療・福祉における課題の動向（生活習慣病、がん、感染症、高齢者の保健・医療・福祉制度等）の対策について説明できる。

B-2-6) 疫学・保健統計

ねらい：根拠に基づいた看護を実践するための基礎となる疫学と保健統計について学ぶ

学修目標

- ①人口統計（人口静態、人口動態）、疾病構造、保健・医療・福祉に関する基本的統計や指標について説明できる。
- ②健康障害と相対リスクについて説明できる。
- ③疫学的因果関係の推定について説明できる。
- ③情報リテラシーについて説明できる。
- ④統計資料をデータベースや文献・図書から検索し活用できる。

準備学修に必要な学修の時間

各講義の中で指示します。

授業計画

回	日程	時間	場所	実施方法	配信方法	テーマ	授業内容	担当者
1	10月7日	13:00～ 14:40	N21	オンライン	ライブ (Webex)	疫学・保健統計総論	疫学・保健統計の重要性	名越
2	10月21日	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	保健統計調査(1)	人口静態・動態統計、等	名越
3	10月28日	〃	N12	オンライン	ライブ (Webex)	保健統計調査(2)	医療制度、医療経済統計、等	名越
4	11月4日	〃	N21	オンライン	ライブ (Webex)	疫学的研究方法(1)	記述疫学	田村
5	11月11日	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	疫学的研究方法(2)	分析疫学(症例対照研究・コホート研究)	松本
6	11月18日	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	疫学的研究方法(3)	介入研究	松本
7	11月25日	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	疫学的研究方法(4)	統計の基本	松本
8	12月2日	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	疫学的研究方法(5)	スクリーニング、敏感度と特異度、等	田村
9	12月9日	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	主な疾患の疫学(1)	生活習慣病の疫学(1):循環器疾患	田村
10	12月16日	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	主な疾患の疫学(2)	生活習慣病の疫学(2):がん	田村
11	12月23日	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	主な疾患の疫学(3)	感染症サーベイランス	田村
12	1月13日	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	主な疾患の疫学(4)	稀少疾患の疫学、職域の疫学	田村
13	1月20日	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	主な疾患の疫学(5)	栄養・運動と健康	谷口
14	1月27日	〃	〃	オンライン	ライブ (Webex)	疫学と公衆衛生看護	社会疫学、政策疫学、等	谷口
15	2月3日	〃	未定	対面		試験		

備考

- ・ライブ配信については基本的に毎回録画し、後日視聴できるようにしますが、授業の内容によっては録画を公開できない場合があります。
- ・講義当日中の小テストの回答を行ったものを出席とします。
- ・当日の突然の機材トラブルなどによりライブ配信授業が受講できなかった学生は連絡してください。
- ・また、ネット環境の関係で対面での聴講を希望する人は事前登録してください。